

## 実践者から学ぶ「地域の居場所と地域のつながり」

日 時：令和4年12月23日（金）

場 所：とみさと市民活動サポートセンター 市民活動ブース1.2

講 師：布川 佐登美氏

（NPO法人ケアラーネットみちくさ 代表）

参加者：11名

今回の「とみさと協働塾」は様々な主体がお互いに手をつなぎ、一緒にまちづくりを推進するきっかけになることを目的としています。昨年度に引き続き、柏市でケアラーズカフェやオレンジカフェの運営や相談など、居場所づくりをしている布川さんをお招きして、事業を始めたきっかけや活動への思いを話していただきました。

また、実際に市内で居場所の運営を始めたお2人から活動への思いなどをお話いただきました。



講座の会場の様子



講師を交えての座談会の様子

### 【参加者の感想】（一部抜粋）

- ・布川さんのぶれない熱い思いに心が動かされました。事例発表のお二人のお話は、もしかして私にもできるかも…という内容で良かった。
- ・自分の信念をもって強い気持ちを持って活動することが大事だということがわかりました。人と人が話すことが大切なことなんだと思いました。
- ・団体同士の横のつながりを作っていく事が必要と感じた。
- ・何をやりたいのか、どうしたいのか、わかってもらえるようにして協力者を作ることが大切。
- ・皆さんのやる気に元気をもらいました。私もいろいろな場所に出かけて、活動を伝えていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・初めの一步 頑張ります！

### 【成果】

- ・市民や市民活動団体が、居場所について関心を持ち、関わってみようと思うきっかけになった。
- ・地域で活動する団体や行政・包括支援センター等との連携の大切さを再認識できた。
- ・講師や実践者、参加者が座談会という形で話せたことで参加者が聞きたい事や迷っている事について話すことができ、活動を始めるきっかけを作れた。



講師を囲んで記念撮影